

ライフデータの高度利用システムに資するプラットフォームのあるべき姿の検討

# スマートライフ関連市場の創出 ～生活関連情報の連携による、消費者ニーズに合ったサービスの高度化～

実施者名	株式会社 三菱総合研究所
概要	<p>&lt;有効なデータ活用の促進&gt; サービス起点で有効なデータカタログを提供できるかを検証、その管理の在り方について検討を深化。</p> <p>&lt;セキュリティ・製品安全におけるリスクベースアプローチの検討&gt; 実証事業の実施者と共に、事業内容に応じたリスク評価、責任分界点について検討を深化。</p> <p>&lt;プライバシーデータ取扱いの在り方の検討&gt; より複雑なサービスにおける、分かりやすくデータ流通を説明した同意取得の在り方、サービス途中解約時のデータ管理の在り方等について検討を深化。</p> <p>&lt;公平・公正な企業間連携の在り方の検討&gt; 企業間のデータ連携の在り方について、データ契約ガイドラインの議論を踏まえ、スマートライフ分野の検討に着手。</p>
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>「IoT 技術を活用したライフデータの高度利用システムの開発（実証事業）」と密に連携の上で、社会課題解決を図る新たなサービス創出を可能とするためのプラットフォームについて調査・検討を実施</li> <li>実証事業の成果最大化、成果の社会実装促進が目的</li> </ul>

- データカタログは、データを利用してサービスを開発・提供するサービス事業者に対して、データを見つけ、利用する際に必要となる情報（データの分類、形式等）を提供するもの。
- データカタログは、サービス事業者が、データ提供者に対して、**必要なデータをリクエスト**するために用いることで、データの提供を促すためにも利用することができる。
- 以上より、データカタログは、データの提供者とデータの利用者間で、**有用なデータのインタフェース（共通ルール）を調整**するための基盤と捉えることができる。

